

1. 事業細目：養殖漁業振興事業		予 算 水産課	
2. 研 究 名：魚類防疫対策事業		予算区分 国庫補助	
3. 研究期間：平成元年度～5年度		4. 担 当 者：高橋、太田(豊)、(水試)、津村(醒井)	
5. 目的 養殖業における魚病被害の軽減と予防を図り、養殖経営の安定化と安全な食品生産に寄与する。			
6. 方法 (事業項目) (1) 魚類防疫会議——国 県 地域別に開催し魚類防疫対策の効率的かつ効果的な推進を図るため協議を行う。 (2) 魚類講習会、研修会——養殖漁家、組合、自治体職員等を対象に、防疫技術の普及、啓蒙および医薬品の適正使用を指導する。 (3) ビブリオ病に係る防疫協議会——水産用ワクチンの適正使用を指導する。 (4) 魚病、養殖に関する情報紙の発行——養殖漁家に対し発行する。 (5) 魚病巡回指導、魚病診断——養殖現場を定期的に巡回し、養殖技術の改良普及、魚の健康のチェック、用水の水質管理等の指導を行うとともに、病害発生時には、病魚の診断、病原菌の検査等魚病診断を実施し対策を協議する。 (6) 水産用医薬品適正使用指導と徹底——診断と薬品の適正使用を組み合わせ指導する。 (7) 養殖魚出荷時の医薬品残留調査			
7. 結果の概要 (1) 魚類防疫会議—— 全国魚類防疫推進会議（7月、2月） 県防疫会議（6月） 地域防疫検討会（3月） (2) 魚病講習会—— 開催日：平成3年12月13日 場 所：水産試験場会議室 講 演：「養殖アユの寄生虫症について」 講 師：東京大学農学部水産学科 小川 和夫 氏 (3) ビブリオ病に係る防疫協議会—— 開催日：平成3年6月6日 場 所：醒井養鱒場会議室 ビブリオワクチン使用状況（平成3年度） ア ユ——2件 ニジマス——0件 (4) 魚病、養殖に関する情報紙の発行—— 滋賀県魚病総合センターより養殖・魚病ニュース等発行し、養漁家に提供する。 (5)(6)魚病診断・巡回指導および水産用医薬品適正使用指導を実施する。			

8. 主要成果の具体的数値

平成3年滋賀県魚病総合センター魚病診断状況

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
病名														
ア ユ	ビブリオ病(A型)													0
	細菌性エラ病		2	1										3
	エロモナス症						1			2				3
	連鎖球菌症									1				1
	その他の細菌症				1	1	2	1	3	1			4	13
	ギロダクチルス症					3								3
	内部寄生虫 ^①											1		1
	水カビ病					1								1
	合併症			1				1	1					3
	不明			2				3					1	6
小 計		0	2	4	1	5	3	5	4	4	0	1	5	34
コイ・フナ類	外部寄生虫症 ^②					2		1	1		1			5
	鰓ぐされ病										2			2
	不明										2			2
	小 計	0	0	0	0	2	0	1	1	0	5	0	0	9
ニジマス・アマゴ類	ビブリオ病							1		1	1			3
	せっそう病											1	1	2
	カラムナリス病									1				1
	細菌性エラ病			1					1					2
	連鎖球菌症				1									1
	水カビ病											1	2	3
	スレ病	1												1
	胃鼓張症				1									1
	不明	1	1	2	1			1			2			8
	小 計	2	1	3	3	0	0	2	1	2	3	2	3	22
合 計		2	3	7	4	7	3	8	6	6	8	3	8	65

① ラフィダスカリス

② キロドネラ、ダクチロギルス、白点虫

9. 今後の問題点

- (1) 巡回指導の強化
- (2) 水産用医薬品の適正使用指導の強化
- (3) 魚病・養殖の幅広い情報の適格な提供

10. 次年度の具体的計画

国、県の魚類防疫会議で決められる魚類防疫推進事業計画にもとづき実施する。